

プログラム

- 13:00 開会**
- 13:20 主張発表**
12名の中学生が”わたしの主張”を発表します
- 15:20 審査結果発表**
内閣総理大臣賞等を表彰します
- 16:00 閉会**

発表者（発表順）

1

沖縄県代表

島袋 莉安

沖縄県立開邦中学校 3年

またやーたい

（発表内容の主旨）

ハワイとの交流事業からウチナーグチについて考え、言葉は地域の伝統、文化、歴史と深く関わりアイデンティティの確立に重要な意味を持つ。私も話せるようになりたい。これから、ウチナーグチにもっと興味をもち、学び・使うことで地域のことを深く知り自分が何者なのか考えていきたい。



2

熊本県代表

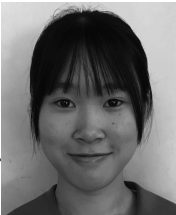
友枝 紗寧

熊本市立鹿南中学校 3年

ついでにしているだけ

（発表内容の主旨）

祖父が毎日の散歩でゴミ拾いをしていた姿に感銘を受け、自分も「ついでに」できることで周囲を幸せにしたいという思いやりの気持ちが芽生えた。自身の辛い経験を通じて、周囲の思いやりに支えられていた事に気づき思いやりの大切さを再認識し、これからも周囲を幸せにしたいという気持ちが強まっていく内容となっている。



5

埼玉県代表

鎌形 ひかり

草加市立谷塚中学校 2年

その人らしさを大切に

（発表内容の主旨）

「性のあり方」について悩む筆者が、一冊のリーフレットに書かれた「四つの性のものさしの組み合わせ」で考えることを知る。「表現したい性」は男とも女ともつかないという本人が、「性の観点にとらわれず、自分のありのまま生きている人がいることをみんなに知っておいてほしい」と訴える。



6

静岡県代表

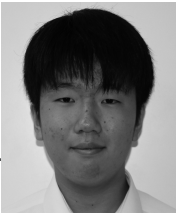
鈴木 颯太

浜松市立神久呂中学校 3年

今を生きる僕たちの使命

（発表内容の主旨）

修学旅行で訪れた京都で聞いた「普通の生活が一番良い。」という言葉が、頭から離れませんでした。武力による侵略行為により、今この時も砲弾や殺意から逃げまどっている人々がいます。僕たちはその事実を他人事ではなく、身近なこととして関心を持ち、今を全力で生きていくべきです。



9

岐阜県代表

林 宏瞭

本巣市立根尾学園 9年

心のつながり

（発表内容の主旨）

能登半島地震の被災地ボランティア。その学びを途切れさせず自ら「動く」中で、様々な人と出会い、私は心のつながりの中で生かされているということに気が付いた。どんな時も一人ではない。みんなで共に防災の心を紡いでいく。一歩を踏み出す勇気をみんなに届けたい。



10

愛知県代表

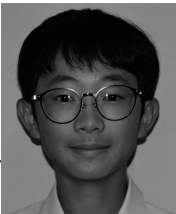
村木 新

西尾市立鶴城中学校 3年

「じゃない方」になって気づいたこと

（発表内容の主旨）

以前は「世間一般の父親像」とそう違いはなかった父が、父子家庭となりお弁当を作らないといけないう状況となった。ごく普通の家族から、普通「じゃない方」の家族へと一変していく中で、父子家庭に関する社会問題を提起し、その問題に対して立ち向かう心構えを述べた主張である。



審査委員会

- 審査委員
- | | | | |
|-------|------------------------|--------|--------------------------|
| 喜多川 泰 | 作家／審査委員長 | 中村 総一郎 | 公益社団法人日本PTA全国協議会 副会長 |
| 今井 純子 | 日本放送協会 解説委員 | 萩原 なつ子 | 国立女性教育会館 理事長 |
| 遠藤 哲也 | 全日本中学校長会 生徒指導部長 | 廣岡 里奈 | 第41回少年の主張全国大会 文部科学大臣賞受賞者 |
| 高木 秀人 | 文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課長 | 古沢 由紀子 | 読売新聞東京本社 編集委員 |
| 中原 茂仁 | こども家庭庁長官官房 参事官（総合政策担当） | 松田 恵示 | 国立青少年教育振興機構 理事 |
- （五十音順 敬称省略）

3

山形県代表

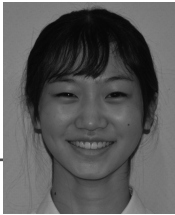
井上 愛奈

白鷹町立白鷹中学校 3年

障害を乗り越えて

（発表内容の主旨）

生まれつきの難聴で、自分の障害に葛藤を抱えていた際に剣道に出合った。家族や周囲に支えてもらいながら練習を重ね、中学最後の大会で勝利。それを審判の声ではなく、仲間の喜ぶ姿で知った。障害があってもそれを乗り越え、勇気を出して剣道に挑戦して良かったと心から感じ、これからも多くのことに挑戦していきたいと強く思った。



4

宮城県代表

ケイバージーバ

栗原市立栗原南中学校 3年

一隅を照らす

（発表内容の主旨）

6年前に日本に来て辛いこともあったが、助けてくれたのは周囲の人たちだった。アフガニスタン等で支援活動を行ってきた医師、中村哲さんに感銘を受け自分も将来医師になり、困っている人たちを救い、日本とアフガニスタンを結ぶ架け橋になりたいと思っている。



7

千葉県代表

松原 蒼天

長生村立長生中学校 1年

大切な家族

（発表内容の主旨）

五年生になった二月三日、十一時十五分。母はすい臓がんで亡くなった。当たり前の時間が、いつか大切な思い出となるように、目の前にいる大切な家族とたくさん話をして、感謝の気持ちを伝えてほしい。伝えられるときに。自分の「言葉」で。



8

富山県代表

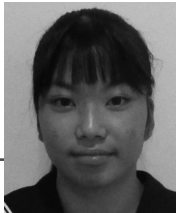
今井 咲希奈

高岡市立戸出中学校 2年

奇跡を起こす子 夢を紡ぐ

（発表内容の主旨）

私には、看護師になりたいという夢があります。検査や入院のたびに不安になりますが看護師さんのおかげで不安が薄らいで笑顔になれるからです。患者さんとその家族の心に寄り添って、その支えになりたい。完治しない疾患がある私ですが、自分の可能性を信じ一歩一歩、夢を紡いでいきたいと思います。



11

島根県代表

田本 怜花

雲南市立木次中学校 3年

つながりの中に生きて

（発表内容の主旨）

曾祖父と曾祖母の戦争体験にふれた経験から、自分の命が繋がれてきた大切なものであること、目の前にある戦争のない毎日は「二度と戦争を起こしてはいけない」という先人たちの思いと行動の連鎖によって生まれたものであることに気づいた。これらの思いを次の世代に伝えていきたい。



12

山口県代表

中島 実優

下松市立久保中学校 3年

空気の読めない私にできること

（発表内容の主旨）

先天的な障がいによって、周りの「空気を読むことができない」と言われている私。でも、クラスメートの支えもあり、自ら動くことによって「空気を作る」ことはできる、と感じた文化祭の合唱コンクール。私はこれからも前向きな姿勢で良い空気を作っていきたい。

